

公民館からのお知らせ

問い合わせ：教育推進課 ☎54-3637

☆飛鳥史学文学講座

【日時】

9月14日(日) 13時～15時

【場所】

中央公民館 1階 ホール

【講師】

関西大学文学部教授 森部 豊

【内容】

法隆寺の香木とソグド人—ユーラシア世界の中の古代日本—

※村内在住の方、関西大学学生、本講座に興味のある中高生は受講料無料です。

【問い合わせ】

関西大学教育後援会

☎06-6368-0055

公民館クラブと村民の皆さまの短歌

☆短歌

・この夏の猛暑もめげず凜と咲く

花に元気をもらおう水やり

辰巳 陽子

・暑い夜螢さがしにくらやみの

土手と川面に光の乱舞

山本 能世

・この年に健康新聞配付をと

北の大地の御用賜る

森本 博文

・白鷺や鳥の大群引き連れて

ソロリソロリと耕運機行く

西村 道子

・ホトトギス鳴けばまじめにテツペン

カケタカの言いまわしこそ見事なりけり

森田 幸子

・つい眺む子燕の巣見上げれば

我先と伸ばす黄色き口を

吉田 清子

・左右の手をはなれて散ったティーカップ

かけらは千々に虹の色して

奥 まさみ

・挨拶は「暑いですねえ」が口癖に

涼やかに咲く庭の時計草

脇田 智子

・雨上がり高取山はくつきりと

ツバメ飛び交う心すつきり

松本 義夫

・梅雨あけの後ろに來たりし夕立の

匂いに思う夏の到来

豊田 絹代

・朝早く行列つくり米を買う

瑞穂の実る国の現よ

森本 千鶴子

・一面の白きドクダミ摘みし母の

背中まぶしき幼き日の朝

尾関 常子

・夏空の強い日差しを避けたくて

ひとはりひとはり時を編み込む

上中 幾代

・巣立っても里帰りする子燕よ

無事に渡れとエールをおくる

井本 智子

・産まれたよ睡蓮鉢の片隅に

一ミリほどのメダカの赤ちゃん

森本 武志

・背を伸ばしキリンの首がスイスイと

速く歩いて若さを装う

山本 修

・見上げればか細い姿手をのべて

優しく微笑む百済観音

藤川 幹代

・新聞の「短歌みたよ」と先輩は

数え百歳電話をくれる

脇本 雅子

・駅ホーム子雀三羽餌さがす

足元うろちよろ はらはら見守る

田中 祥子

・「梅花の宴」模した万博大茶会

ひびく朗唱は明日香村長

友田 昌子

・新緑の樹々茂りおりその向こう

高松塚よ姿を見せよ

勝川 京子

・梅雨晴れによく声透るホトトギス

田植を急げとわれに告げくる

米田 郁夫

・梅干になりゆく甕のその一つ

口にくめば至福はここに

米田 靖子

